

JR連合2017春季生活闘争 グループ労組連絡会FAXニュース No.23

2017年 4月28日

日本鉄道労働組合連合会

JR九州システムソリューションズ労組が妥結

福利厚生制度の充実で成果挙げる

2017春季生活闘争の取り組みで、3月24日、JR九州連合に加盟するJR九州システムソリューションズ労組が交渉を妥結した。定期昇給の実施に加えて、福利厚生制度の充実（住宅援助金の増額、人間ドック補助の増額、インフルエンザ予防接種助成金の増額）で成果を挙げた。

JR九州システムソリューションズ労組【3月24日妥結】

- ・ 定期昇給の実施
- ・ 福利厚生制度の充実
住宅援助金の増額（15,000円→20,000円）
人間ドック補助の増額（10,000円→20,000円）
インフルエンザ予防接種助成金の増額（2,000円→2,500円）

4月末決着にむけて、懸命の交渉続く！

JR連合は「中期労働政策ビジョン（2014～2018）」に掲げる目標賃金への到達とグループ全体での雇用確保、労働条件の向上にむけて、グループ各単組とJR各単組が一丸となって闘う2017春季生活闘争を構築することを確認し、「原則年度内、可能な限り4月末決着」を目指してきたところである。

本日12時までの集計では、JRグループ労組連絡会に加盟する92単組のうち、84単組が要求を申し入れ、42単組が妥結した。そのうち、ベースアップ回答を得たのは26単組にのぼる。残るグループ労組でも懸命の交渉が継続しており、各単組からの最大限の支援を要請する。

以上